

平成20年度 客員教授一覧

所属	氏名	職務・授業科目	期間・時間数	所属又は本務校	プロフィール
文学部	小篠 弘子 (コシノ ヒロコ)	講演会	通年	ファッションデザイナー	社会参加意識の強いコンテンツ系キャリアからミセスをターゲットとするブランドを展開。平成19年ファッションデザイナーとして50年を迎えた。
	辻原 登 (ツシハラ ノボル)	講演会	通年	作家	「村の名前」で第103回芥川賞を受賞。現在、東海大学文学部教授。
	松本 由理子 (マツモト ユリコ)	講演会	通年	ちひろ美術館・東京 副館長	昭和51年に「いわさきちひろ記念事業団」設立。現在、講演活動を通じ、ちひろとちひろが絵に託した思いを語り続ける。
	村田 裕之 (ムラタ ヒロユキ)	講演会	通年	財団法人社会開発研究センター理事長、 村田アソシエイツ代表、東北大学 特任教授 株式会社アンクラージュ取締役	文学部と連携し、「カレッジリンク型シニア住宅」創設に携わる。
経済学部	大武 健一郎 (オオタケ ケンイチロウ)	講演会	通年	商工中央金庫副理事長	平成18年に「平成の税・財政の歩みと21世紀の国家戦略」税財政の本道 国のかたちを見すえて」を出版。
	佐伯 啓思 (サエキ ケイシ)	講演会	通年	京都大学大学院 人間・環境学研究科教授	平成20年2月、「正論大賞」を受賞
	辻本 一義 (ツジモト カズヨシ)	学際研究講義3 (関西企業と知的財産)	秋学期・2時間	辻本特許事務所 所長	弁理士。平成13年に黄綬褒章を受章。
	早瀬 昇 (ハヤセ ノボル)	経済学特殊講義4 (NPOボランティア論)	春学期・2時間	社団法人 大阪ボランティア協会 理事	阪神大震災後、神戸市に一般市民公開型のボランティアセンターを開設する。
経済学研究科	宮口 定雄 (ミヤグチ サダオ)	M租税論研究1,2	通年・2時間	宮口定雄税理士 事務所 所長	税理士。平成16年に黄綬褒章を受章。
商学部	上野 道善 (ウエノ ドウゼン)	講演会	通年	東大寺第219世別当	大学入学と同時に入寺。現在、奈良県教育委員会教育委員長。
	野田 順弘 (ノダ マサヒロ)	講演会	通年	株式会社オービック代表取締役会長兼社長	会計機販売会社を起業し、現在のオービックへ。主な製品は、「統合型基幹業務システム奉行シリーズ」
	MARK EDWARD PARRY	ビジネス特殊研究 (市場導入のケース分析)	春学期集中 ・2時間	University of Missouri - Kansas City	アメリカにおいて多数の教育プログラムを座長(リーダー)として企画・実施。研究においてもトップ・ジャーナルに約40本の論文を発表。
商学研究科	関 要 (セキ ケイ)	現代ファイナンス・会計研究(1)	秋学期・2時間	財団法人日本証券経済研究所 顧問	大蔵省退官後、政府の様々な審議会委員を務める。
社会学部	後藤 健生 (ゴトウ ケイセイ)	国際コミュニケーション論	秋学期・2時間	サッカージャーナリスト	平成7年からサッカー、特に世界レベルのサッカーに関する書物を出版。
社会学研究科		ジャーナリズム実習	通年・2時間		
社会学研究科	太田 房江 (オオタ フサエ)	大学院授業担当予定	調整中	前大阪府知事	平成12年から8年間大阪府知事を務める。
	西村 嘉郎 (ニシムラ ヨシロ)	講演会	通年	朝日放送株式会社 代表取締役社長	プロデューサー時代には「探偵!ナイトスクープ」等多くの番組を制作。
	西川 一誠 (ニシカワ イッセイ)	講演会	通年	福井県知事	「ふるさと納税」へと発展していくものとなった「故郷寄付金控除」制度について提唱。
政策創造学部	平松 守彦 (ヒラマツ モリヒコ)	講演会	通年	NPO法人大分一村一品国際交流推進協会理事長 元大分県知事	24年間大分県知事を勤める。平成16年、旭日大綬章を受章
	樋渡 啓祐 (ヒワタシ ケイスケ)	講演会	通年	佐賀県武雄市長	元高槻市長公室長。「がばいばあちゃん」実写版の撮影場を誘致。
	Francis Fukuyama	講演会	通年	Director&Professor, International Development Program Paul H.Nitze School of Advanced International Studies, Johns Hopkins University	経済政治学者。 著者は「歴史の終わり」。
	佐藤 忠信 (サトウ タダノブ)	M特別講義(防災情報論)	秋学期・2時間	京都大学 名誉教授 神戸学院大学 教授	平成18年11月経済産業大臣表彰受賞。 土木学会、地盤工学会、自然災害学会、米国地震学会に所属。論文多数。
総合情報学研究科	福島 邦彦 (フクシマ ユキヒコ)	M特別講義(脳と感性情報) M特別講義(脳と知能情報)	通年・2時間	(財)ファジシステム研究所客員研究員	日本神経回路学会初代会長、現在顧問を務め名誉会員でもある。その他、電気・映像・情報関係の学会に多数所属。論文多数。
	大坪 文雄 (オオツボ フミオ)	講演会	通年	松下電器産業株式会社 代表取締役社長	創業以来の一貫した経営理念で松下電器産業を発展させる。
システム理工学部 環境都市工学部 化学生命工学部	藤田 正憲 (フジタ マサノリ)	生物環境工学	秋学期・2時間	大阪大学 名誉教授	日本水処理学会会長。水環境に関する論文、著書多数。
工学研究科		水圏環境学特論	春学期・2時間		
工学研究科	久貝 卓 (クガイ タカシ)	講演会	春学期	経済産業省 近畿経済産業局長	旧通商産業省入省。平成18年から現職。局長就任以降、経済成長戦略等の講演を行う。
	中村 桂子 (ナカムラ ケイコ)	生命誌特論	夏季集中・2時間	JT生命誌研究館 館長	生命科学、ゲノム等の研究を民・官・学で経験し、同分野の研究をリードする。
	鳴海 邦碩 (ナリミ ケンロウ)	都市および地域再生特論 地域再生学特論	通年・2時間	大阪大学大学院工学研究科 教授	景観に関する審議会等多数歴任。 都市環境デザインに関する著書、論文・発表多数。
	山田 宗範 (ヤマダ ムネノリ)	経済産業論	春学期・2時間	経済産業省 近畿経済産業局総務企画部長	旧通商産業省入省。平成18年から現職に就任し、寄稿論文も執筆。
外国語教育研究機構	金田一 秀穂 (キンダイチ ヒデホ)	講演会	通年	杏林大学 教授	日本語研究の第一人者。 海外での日本語教育経験も豊富。
法務研究科	小松 陽一郎 (コマツ ヨウイチロウ)	現代法特殊講義6 現代法特殊講義7	通年・2時間	小松法律特許事務所所長 立命館大学法科大学院(特別契約)教授	弁護士、弁理士。 日弁連知的財産政策推進本部副部長。著書、論文多数。
	松田 成 (マツダ ナリ)	民・刑事裁判演習, 刑事実務の基礎 刑事模擬裁判, 法曹倫理 刑事実務特殊講義, 検察実務講義	春学期・4時間 秋学期・3時間	大阪高等検察庁検事 神戸大学法科大学院教授	昭和54年から各都道府県検察庁に勤務。平成8年以降、各検察庁では、検察事務官の各種研修を担当し、部下の育成指導にあたった。
会計研究科	伊藤 進一郎 (イトウ シンイチロウ)	特殊講義	春学期・2時間	株式会社プロティビティジャパン 最高顧問 元 住友電気工業株式会社 副社長	旧大蔵省企業会計審議会委員として会計ビッグバンの策定に参画。 経済産業省や財務省の委員を務める。
	大西 又裕 (オオサイ マサヒロ)	講演会	通年	ネットライフ企画株式会社最高顧問 元税務大学校主任教授	旧大蔵省・財務省で活躍。平成19年から現職。
	竹中 平蔵 (タケナカ ヘイゾウ)	講演会	通年	慶應義塾大学 教授	総務大臣・郵政民営化担当大臣を歴任。小泉政権時代には、郵政民営化に尽力し改革を促進した。
学長発議	秋草 直之 (アキクサ ナオユキ)	講演会	通年	富士通 代表取締役会長	大学卒業後、富士通通信機製造(株)入社。富士通初の文科系SEとして一貫してシステム開発部門で活躍。現在、(社)電子情報技術産業協会副会長を務める。
	奥 正之 (オク マサユキ)	講演会	通年	三井住友銀行 頭取	専務取締役時に旧さくら銀行と旧住友銀行を合併し、三井住友銀行を誕生させる。平成19年度全国銀行協会会長。
	西川 善文 (ニシカワ ヨシフミ)	講演会	通年	日本郵政株式会社 取締役兼代表執行役社長	三井住友銀行発足と同時に初代頭取に就任。その後、小泉政権時に発足した日本郵政公社の初代社長となる。
	長谷川 閑史 (ハセガワ カズチカ)	講演会	通年	武田薬品工業株式会社 代表取締役社長	国際派として、海外拠点を渡り歩く。「武田イズム」を掲げ220年の歴史を持つ武田薬品の社長を勤める。
	山田 洋次 (ヤマダ ヨウジ)	講演会	通年	映画監督	「男はつらいよ」「釣りバカ日誌」シリーズ監督。 平成20年には吉永小百合主演の映画「母べえ」を公開。

委嘱期間について
 春学期のみ、夏季集中 ... 平成20年4月1日～平成20年9月20日
 秋学期のみ ... 平成20年9月21日～平成21年3月31日
 春・秋学期担当、通年 ... 平成20年4月1日～平成21年3月31日